



各地で「エコ活動」の輪が 広がっています

みんなで、できることから着々と・・・

JR東日本では、各職場の身近な環境負荷の削減に取り組む「JR東日本エコ活動」を全社で推進しています。ここでは、JR東日本の16機関の取り組みをピックアップしてご紹介します。



「私の環境行動目標」を設定

秋田支社秋田総合車両センター 石川昇
省エネ・省資源・省ゴミに向けて、各自が「私の環境行動目標」を設定。センター全体の目標値を上方修正するほど、皆の意識改革が進行中。



エコなアイデア、募ります

仙台支社山形運輸区 横田徹
アイデアを実践につなげています。例えば、車内清掃ツールを製作。乗務員に配布し、ゴミの区所への持ち帰り分別と車内美化に努めています。



わが街の美化へ向けて

新潟支社酒田駅 内山雅彦
駅周辺や森林・河川の清掃などの環境ボランティア活動に取り組んでいます。職場の取り組みにとどまらず、家庭へも広げていきたいです。



“工事と生活”の二方向から

上信越工事事務所高崎工事区 中野涼子
1工事に1つ、環境に配慮したアイデアを実践中。産廃を減らす運搬機もここから生まれました。さらに職場生活面からも取り組んでいます。



見えるところに廃棄物置場

高崎支社高崎車両センター 巻田純平
車両検査や工事から出る産業廃棄物の置場を、あえて人目につきやすい場所へ新設。リサイクル率だけでなく皆のモラルも向上しました。



環境パトロールの目が光る

長野支社長野総合車両センター 大木俊夫
車両部品の再生利用など「3R」を推進中。電気・水・ゴミの抑制は3年計画で目標値をクリア。環境パトロールにより取り組みの把握をしています。



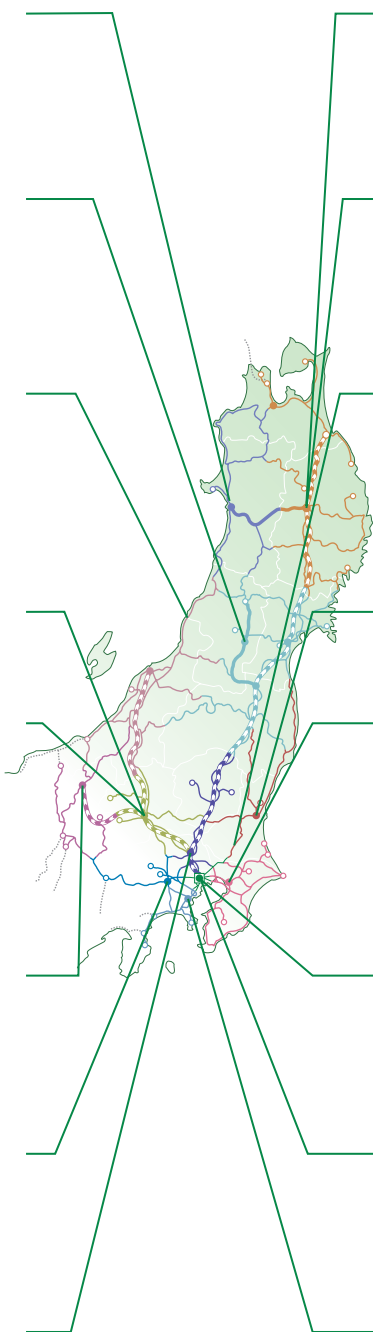
「エコの日」をつくりました

八王子支社東小金井駅 折原稔
毎月「エコの日」を決め、皆でやるうという雰囲気が出てきました。非番者を中心に職場の清掃、省エネ・省資源化などに取り組んでいます。



分別しやすく、回収しやすく

大宮支社吉川駅 柴田努
ゴミ箱置場を明確化し、分別シールを貼付。さらに、ゴミの一時保管庫に分別棚を設置。分別と回収がスムーズになるよう工夫しました。



長くジックリ取り組む活動

盛岡支社盛岡信号通信技術センター 宮野幸治
LED信号機を徐々に増やす、現場への移動をできるだけ車ではなく列車を活用するなど、日常業務を足元から見直しています。



現場のノウハウを水平展開

東北工事事務所盛岡工事区 藤田朋子
橋りょう工事から出る廃棄物のリサイクル、騒音防止、河川の汚染抑止、景観との調和など、各現場が蓄えたノウハウを水平展開しています。



まずは自発的な「気づき」を

東京支社松戸運転区 藤田吉弘
エコ情報誌を発行。まずは地球温暖化の影響が身近な問題であることを訴えています。自らエコ推進員に立候補する社員も出てきました。



一人ひとりの意識改革から

水戸支社水戸保線技術センター 井上博克
環境に関するグループ会議（毎月）、トイレや各部屋に掲示した「エコ豆知識」、さらに「エコ掲示板」などで、皆の意識向上に取り組んでいます。



人任せにしないことが大切

千葉支社千葉機械技術センター 鈴木康彦
ゴミの分別を徹底したところ、皆が驚くほどの効果あり。さらに改善案が出てくるなど士気高揚が進んでいます。次は省エネに取り組む予定。



環境負荷の少ない工事を

東京工事事務所開発調査室 戸塚淳也
まずは工事現場を入念に調査。最も環境負荷の少ない構造・施工プロセスを考え、それをチームで意識共有しながら工事を進めています。



会議は各自パソコン持参で

東京電気システム開発工事事務所 北野正之
オフィスゴミの分別、コピー用紙の（裏紙）リユース、ペーパーレス化などを推進中。会議は各自パソコン持参、紙の資料は配らない、なども。



マイバッグ&マイ箸 運動

横浜支社矢向車掌区 帯刀敏行
全員にエコバッグを配り、レジ袋を削減中。ゴミの分別も徹底しています。こうした取り組みを「エコ新聞」で紹介。今後はマイ箸運動も。